

妹背牛町地球温暖化対策実行計画 [事務事業編] の点検・評価について

妹背牛町役場では事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、令和4年3月策定の「第1次妹背牛町地球温暖化対策実行計画[事務事業編]」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでまいりました。

上記計画第4章2に基づき、点検・評価を実施いたしましたので公表します。

1 第1次妹背牛町地球温暖化対策実行計画の概要

計画期間を令和4年度から令和8年度までの5年間とし、二酸化炭素排出量を基準年度である令和2年度に比べ最低5%削減することを目標としています。

対象	削減目標	目標年度排出量（令和8年度）
二酸化炭素	-5%	1,197,732 (Kg - CO ₂)

2 点検評価

【本計画削減目標の達成状況】

二酸化炭素排出量 (Kg - CO ₂)	令和2年度（基準年度）	令和4年度実績	増減量	増減率
	1,260,771	1,209,435	-51,335	-4.07%

二酸化炭素排出量は基準年度と比較し4.07%の減少となっております。これは各種節電対策の取組により減少傾向にある他、令和2年度に小学校の冬休み期間を短縮した事等による影響です。

【燃料別二酸化炭素排出量表】

項目	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			増減率
	令和2年度	令和4年度	増減量	
電気	533,489.96	482,564.77	-50,925.19	-9.55%
灯油	346,992.65	365,800.05	35,225.19	10.66%
A重油	330,574.86	307,634.92	-39,357.74	-11.34%
軽油	32,443.10	31,468.41	-974.69	-3.00%
ガソリン	17,009.50	21,754.21	4,744.71	27.89%
ガス	261.20	213.52	-47.68	-18.25%
合計	1,260,771.27	1,209,435.87	-51,335.40	-4.07%

燃料別の二酸化炭素排出量については、電気、重油、軽油、ガスが基準年度を下回っておりますが、灯油とガソリンでは増加しています。

3 今後の取組について

令和4年度の二酸化炭素排出量は基準年度と比較して4.07%の減少となりました。これは各種節電対策の取組による減少もありますが、主な要因は令和2年度に小学校の冬休み期間を短縮した事による影響です。

今後についても、引き続き職員の一人ひとりが節電等を心がけ、目標を達成できるよう各公共施設における二酸化炭素排出の抑制に努めて参ります。